

2024(令和6)年度「オオハンゴンソウ防除」～野幌森林公園～（協働）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

事業名	オオハンゴンソウ防除（道立自然公園野幌森林公園中央線沿線～折り返し）		
開催日時	2024（令和6）年6月27日（木）9:50開会 10:00-12:00移動&防除 12:15散会		
天候	晴れ（風速日最大6.1m/s） 最高気温24.3℃ 最低気温8.7℃（アメダス江別）		
参加状況	総数30人 *専用ゴミ袋提供、回収と焼却協力：江別市環境室廃棄物対策課さま 内訳 北海道森林管理局石狩地域森林ふれあい推進センター 4 " 石狩森林管理署野幌森林事務所 1 野幌森林(もり)づくり熟 10 ボラレンと重複者2有 北海道博物館総務部 2 野幌森林公園自然ふれあい交流館 2 北海道ボランティア・レンジャー協議会 11 " 行事案内による一般参加者 2 オリジナル缶バッジ進呈		
防除作業概要	1 コロナ禍やヒグマ騒動での中断期間を経て、足かけ16年目の取組。前年に続き、中央線の東3号線分岐から南側約400m間の遊歩道沿いを重点的に防除。 2 オオハンゴンソウと似通ったオオヨモギやトリカブトなどと混同しないよう、一部に目印を付けたほか、リーフレットを配布し、開会式等で周知をはかった。 3 抜き取ったオオハンゴンソウの根茎を効率よく回収するため、各自、剪定ばさみやカマなどを持参し作業に当たった。自然発生的に円滑に役割分担がなった。 4 根茎は、ゴミ袋に回収（焼却処分）するとともに、時期的にまだ蕾を付ける前の茎・葉は、軽トラで回収し、園内の片隅に集約して堆肥化を図った。		
感想等	・ 運び出しに車両は不可欠。野幌森林事務所の軽トラ出動に今年も感謝です。 ・ ここのところの不安定な天候から一転、熱中症が心配なほどのコンディション。 ・ オオヨモギの一部混獲も。ともあれ無事故で、所期の目的を達成できました。		
その他	・ 今年度も、種子等の拡散を防ぐ主旨から、作業前後に靴底の洗い流しの徹底を図った。 ※この協働事業は、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年法律第78号）18条第2項の規定に基づく、北海道地方環境事務所長の認定事業です。		



開会挨拶＝ 中澤：森林センター所長、島村：博物館総務部長



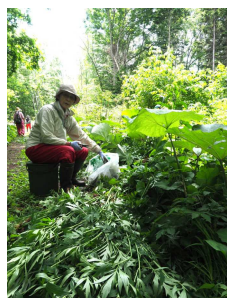
閉会挨拶＝ 藤田：ボラレン副会長



遊歩道の両サイドを重点的に防除



回収した根茎の袋を前に、記念写真（撮影者も参加者）



根茎の切り取り作業
← 腰掛け持参で根茎切りに専念



集積した茎や葉の山



始・終点に「お知らせ」を掲出
（記録作成者：富倉圭祐、藤吉 功）